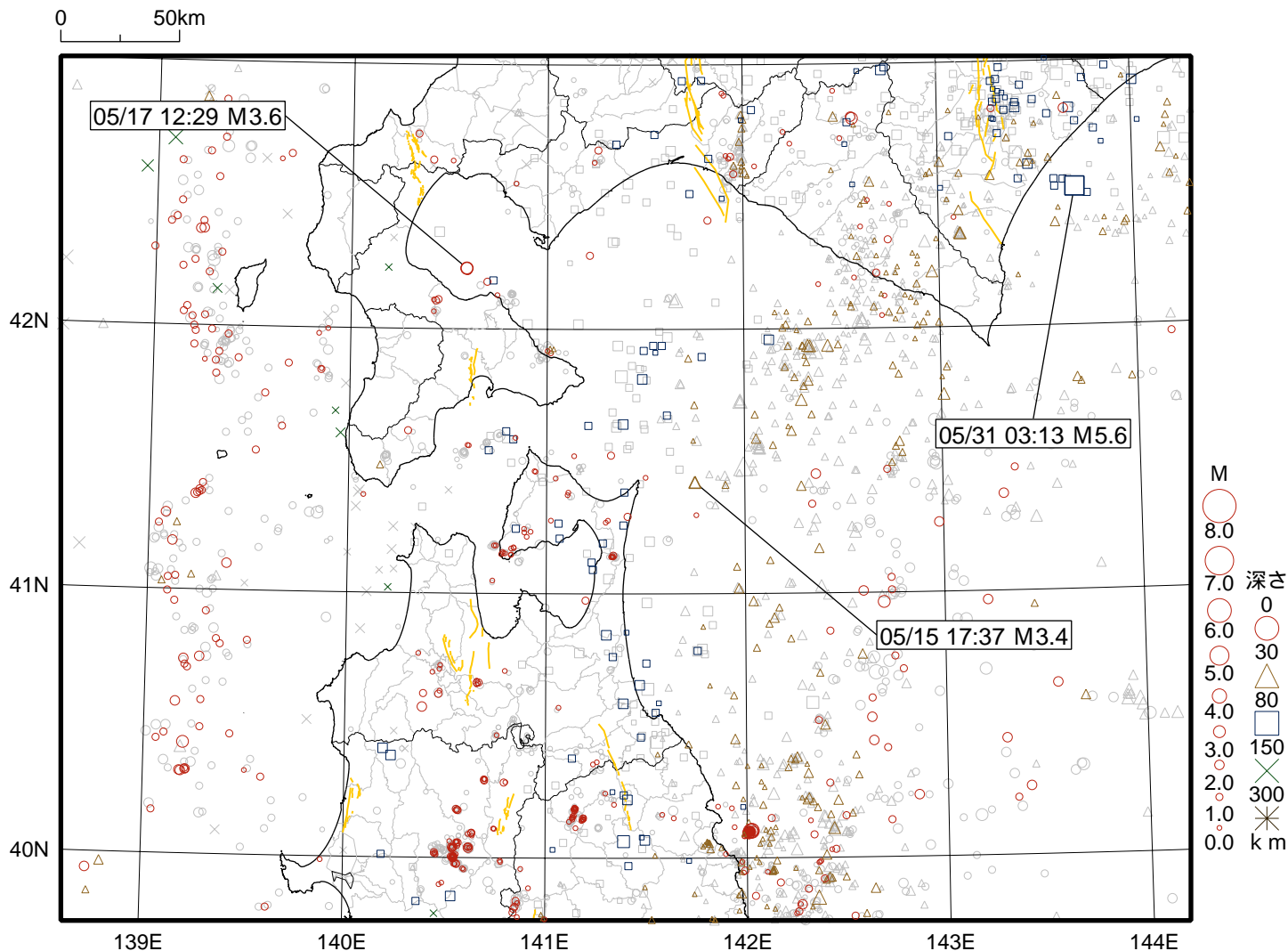


渡島・檜山地方の地震活動図

2020年5月1日～2020年5月31日

震央分布図

函館地方気象台



※ これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
記号Mはマグニチュードを表します。
図中橙色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層を表します。
過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
2020年4月18日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震の震源決定数の変化が見られることがあります。

地震概況（2020年5月）

この期間、渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は4回（4月は6回）でした（詳細は「震度1以上を観測した地震の表」参照）。

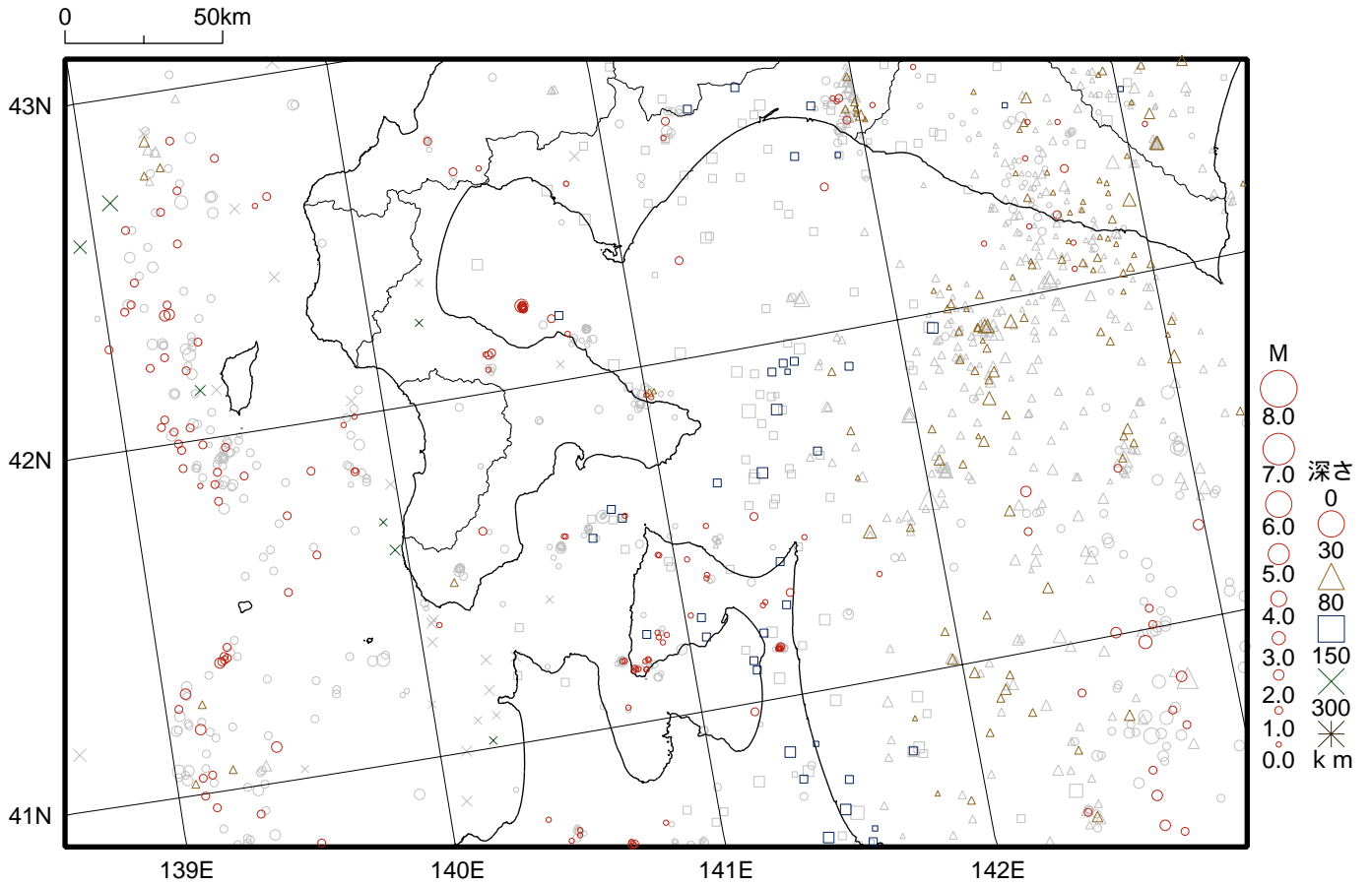
17日12時29分、内浦湾の地震（M3.6、深さ17km）により、森町で震度2を観測したほか、函館市、北斗市、福島町、八雲町、七飯町、鹿部町、上ノ国町、厚沢部町で震度1を観測しました。

31日03時13分、十勝沖の地震（M5.6、深さ94km）により、函館市で震度2を観測したほか、鹿部町で震度1を観測しました。

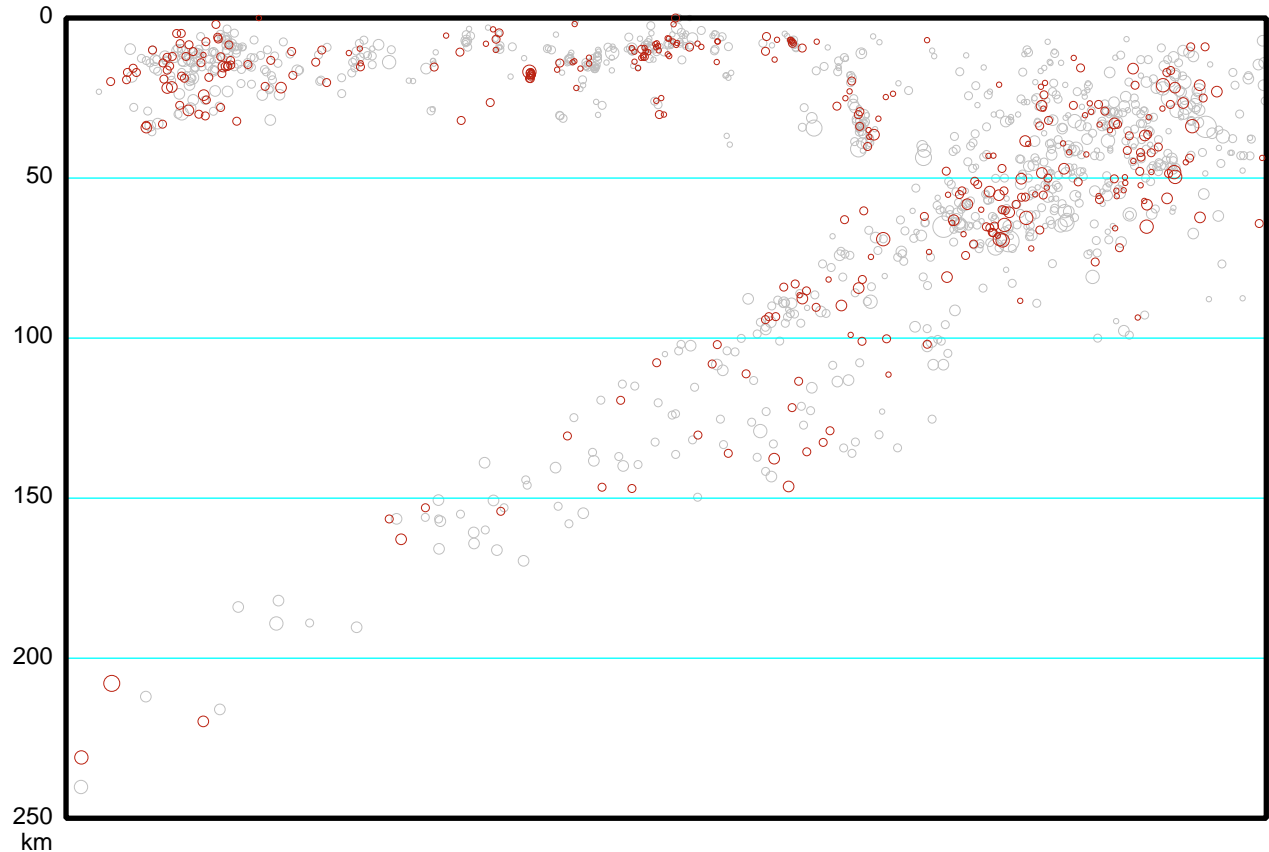
この活動図は、函館地方気象台のホームページに掲載しておりますのでご利用ください。
ホームページのアドレスは、「<https://www.jma-net.go.jp/hakodate-c/>」です。

2020年5月1日 ~ 2020年5月31日

震央分布図



断面図



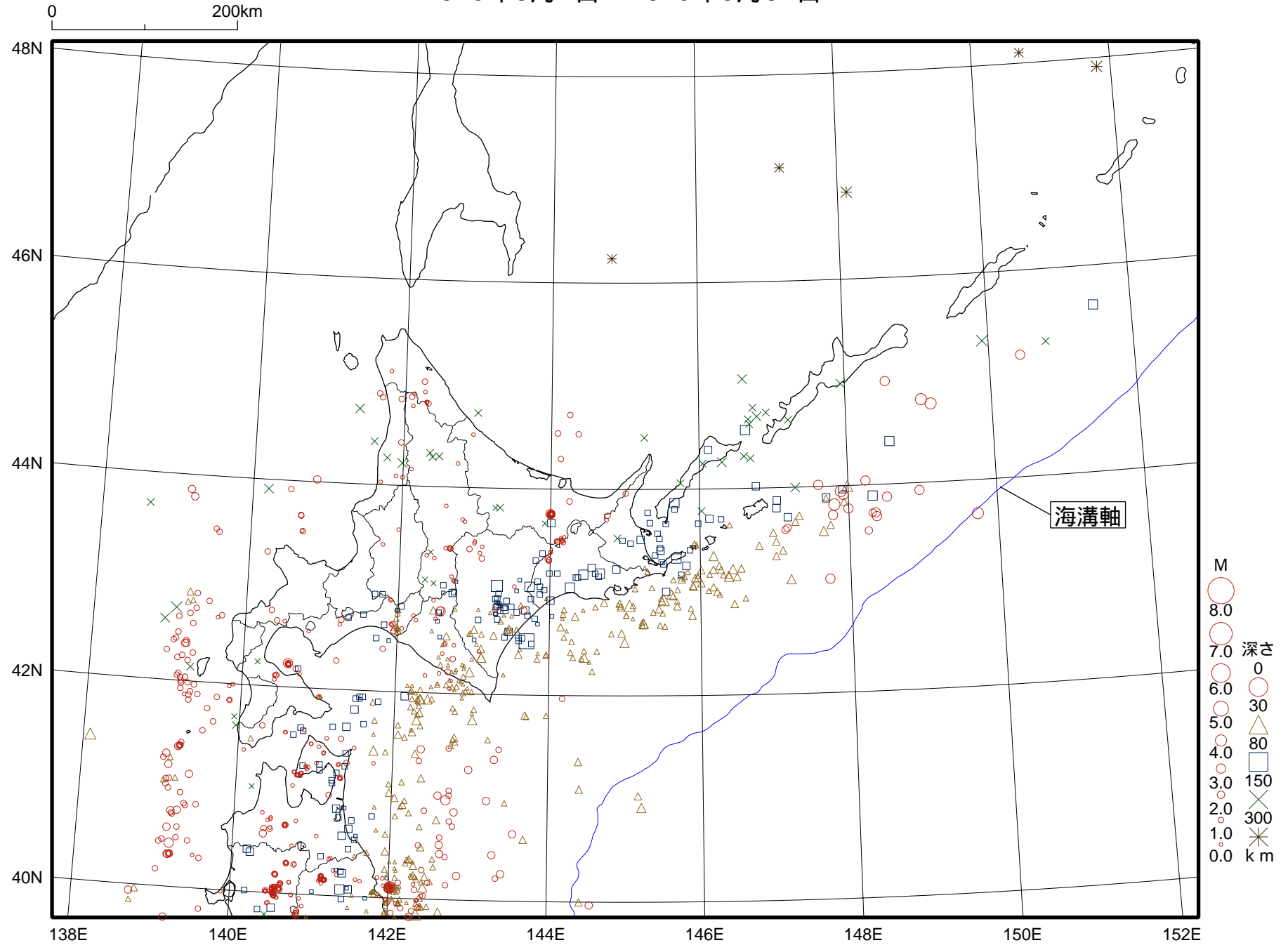
※ これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
 記号Mはマグニチュードを表します。
 過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
 2020年4月18日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震の震源決定数の変化が見られることがあります。

北海道の地震活動図

2020年5月1日～2020年5月31日

札幌管区気象台

震央分布図



※ 2020年4月18日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震の震源決定数の変化が見られることがあります。

震度 1 以上を観測した地震の表 (2020年5月)

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (k m)	規模 (M)
2020年 5月15日 渡島地方	17時37分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町 * (08)	41 ° 25.3 N	141 ° 44.9 E	69 k m	M3.4
2020年 5月17日 渡島地方 檜山地方	12時29分 震度 2 震度 1	内浦湾 渡島森町御幸町(17) 渡島森町上台町 * (23) 渡島森町砂原 * (16) 八雲町上の湯(07) 函館市川汲町 * (07) 七飯町本町 * (05) 鹿部町宮浜 * (09) 渡島北斗市本町 * (07) 福島町福島 * (06) 上ノ国町小砂子 * (09) 厚沢部町木間内 * (11)	42 ° 13.7 N	140 ° 35.2 E	17 k m	M3.6
2020年 5月29日 渡島地方	08時42分 震度 1	十勝地方中部 函館市泊町 * (09) 函館市新浜町 * (13)	43 ° 03.1 N	143 ° 17.8 E	104 k m	M4.5
2020年 5月31日 渡島地方	03時13分 震度 2 震度 1	十勝沖 函館市泊町 * (16) 函館市新浜町 * (22) 函館市尾札部町(05) 函館市川汲町 * (12) 鹿部町宮浜 * (06)	42 ° 31.3 N	143 ° 42.1 E	94 k m	M5.6

各地の震度は、渡島・檜山地方のみを掲載しています。

* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

地震概況ではセントロイドの深さで表現した地震が含まれている場合があります。

震源の緯度、経度、深さ、規模は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

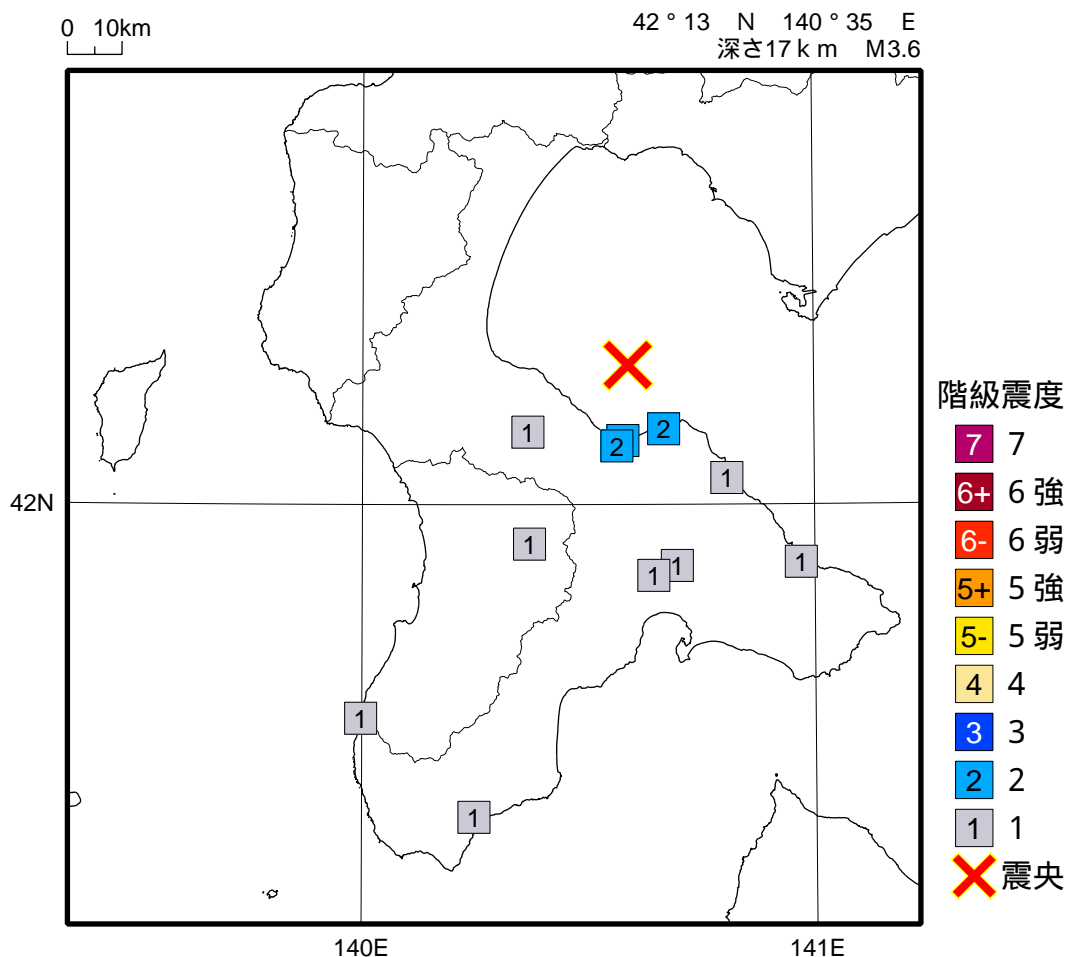
計測震度と震度階級の対応は下表のとおりになっています。

計測震度と震度階級の関係

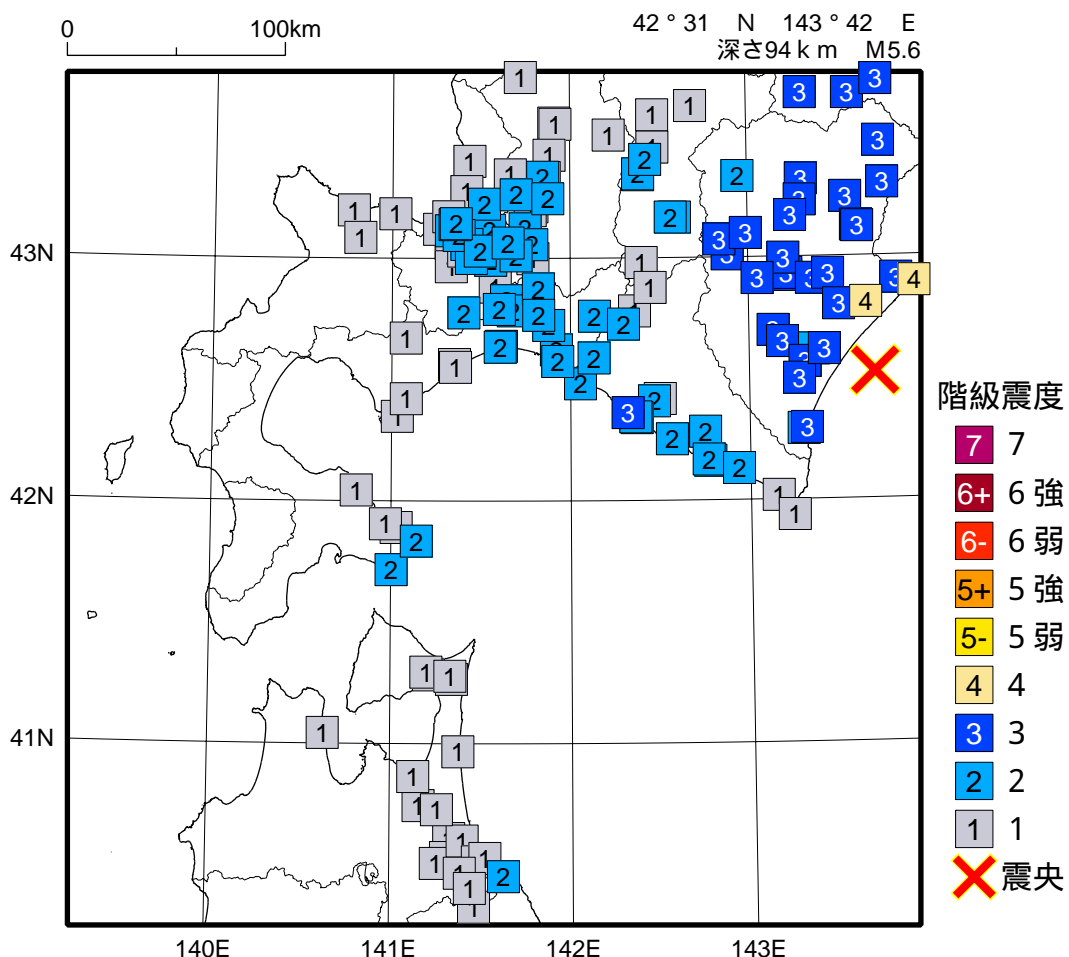
計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

2020年 5月17日12時29分 内浦湾の地震の震度分布図



2020年 5月31日03時13分 十勝沖の地震の震度分布図



【防災メモ】

～大津波警報・津波警報・津波注意報～

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置を速やかに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報又は津波注意報（以下「津波警報等」とします。）を津波予報区単位（図1）で発表します。

1. 津波警報等で予想される津波の高さ

予想される津波の高さを、5段階の数値で発表します（表1）。ただし、地震の規模（マグニチュード）が8を超えるような巨大地震に対しては、精度の良い地震の規模をすぐに求めることができないため、最初に発表する津波警報等では、予想される津波の高さを「巨大」などの言葉を用いて発表し、非常事態であることを伝えます。その後、地震の規模が精度良く求められた時点で津波警報等を更新し、予想される津波の高さを数値で発表します。

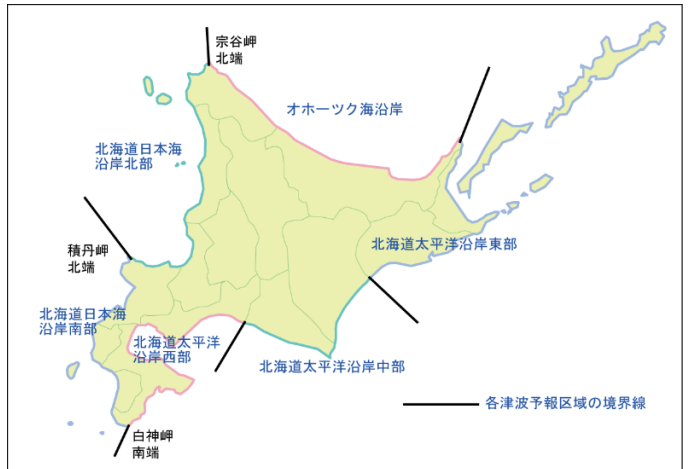


図1 北海道の津波予報区

表1 津波警報等の種類ととるべき行動（気象庁リーフレット「津波防災」より）

	予想される津波の高さ		とるべき行動	避難の範囲
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m 超 (10m < 高さ)	巨大	<p>沿岸部や川沿いにいる人は、<u>ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難</u>してください。</p> <p>津波は繰り返し襲ってくるので、大津波・津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。</p>	<p>お住まいの市町村の津波ハザードマップ等で、浸水が想定される区域を確認しておきましょう。</p>
	10m (5m < 高さ ≤ 10m)			
	5m (3m < 高さ ≤ 5m)			
津波警報	3m (1m < 高さ ≤ 3m)	高い	<p>ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</p>	<p>また、津波の規模は様々であり、実際には浸水想定を上回る津波が襲ってくることもあるので、<u>最大限の避難を心がけ</u>ましょう。</p>
津波注意報	1m (20cm ≤ 高さ ≤ 1m)	(表記しない)	<p><u>海の中にいる人は、ただちに海から上って、海岸から離れて</u>ください。</p> <p>津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。</p>	

2. 津波警報等と避難のポイント

- ・震源が陸地に近いと津波警報等が津波の襲来に間に合わないことがあります。沿岸で強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報等が解除されるまでは、避難を続けましょう。